

平成 20 年度学校評価 自己評価書

2009 (平成 21 年) 3月

学校法人高橋学園

千葉学芸高等学校

1. 学校教育目標

〈1〉建学の精神と教育目標

建学の精神「創造」	
教育目標	1. 心の創造 強い精神力と思いやりの心 2. 智の創造 知性と判断力 3. 美の創造 感性と技芸

建学の精神

建学の精神は私立学校にとってその教育の最も根幹となる目標を示すものであり、すべての教育活動を建学の精神に位置づけて行われる。千葉学芸高等学校では、建学の精神「創造」のもと、美しい人類文化の創造にあたる実力を備えた人材の育成を図る教育活動を展開する。従って『創造』の対極にある「破壊」や「汚染」などにはくみしない。

教育目標

教育目標は、建学の精神「創造」の具現化のため、心・智・美の観点から獲得を期待する知識技能能力の内容を示す。

心の創造においては、物事への集中や忍耐のできる強い意志を備えつつ、優しい思いやりも併せ持つ人間性の涵養を図る。

智の創造において、知性を磨き、知識を蓄積するのは正しい判断のできる理性を備えるためである。

美の創造においては、美しいものを美しいと感じ、それを言葉や身体で美しく表現できる能力や技能の獲得を図る。

〈2〉教職員および生徒の行動目標

教育目標の実現のため教職員は、以下の信条のもとに教育活動にあたる。

《職員の信条》

- (1) 建学の精神を生かし、日本人の特性と校風を高揚せん
- (2) 自己の誇りと責任を自覚し、全機能の発揮に当たらん
- (3) 親和・協力の心を基とし、内容の充実を求めん
- (4) 良き社会人たる素質を磨き、生徒の進路に万全を期せん

生徒は、以下の誓いのもとに学校生活の充実を期す。

<p>《誓いの言葉》</p> <p>(1) よい伝統と、よい校風をつくります</p> <p>(2) はつらつとした若さで学力・技能を磨きます</p> <p>(3) 愛敬の心を生活に表します</p>
--

また、以下の学年目標に沿って自己の研鑽・向上を図る。

1 学年の目標	<p>《自学》</p> <p>私たち1年生は、次の目標をしっかりと実行して進みます。</p> <p>(1) 高校生としての礼法・言語・動作を立派に築きます</p> <p>(2) 友情・協同の精神を発揮します</p> <p>(3) 自信の持てるまで努力いたします</p>
2 学年の目標	<p>《充実》</p> <p>私たち2年生は、学校の中心となり、充実した学年を築きます。</p> <p>(1) 自分の将来の方針をたて、目標達成のために根強い努力をします</p> <p>(2) 愛校・友情の精神を一日の生活に表します</p> <p>(3) 自信の持てる力と人格を築きます</p>
3 学年の目標	<p>《独立》</p> <p>私たち3年生は、自分の将来の方針をたて、最高学年として人格を磨き、よい社会人となります。</p> <p>(1) 全校のよき指導者となります</p> <p>(2) 社会にたつ一切の準備をいたします</p> <p>(3) 自己の誇りと責任を自覚し、協力貢献を実践します</p>

〈3〉年度目標

以上を踏まえて、平成20年度の目標を以下のように設定した。

<p>平成20年度学校目標 『One Up! 広い視野、温かい心』</p>

One Up (ワンナップ) は「一歩前進、1点リードしていくこと」。

教職員は、広い視野をもって生徒の現在・過去・未来をみつめ、導く。また、温かい心をもって、時には見守り、時には叱り、時には背中を押し、教え諭し、導く。

生徒は、自らの広い視野を獲得し研鑽する。また温かい心をもって物事にあたり、仲間や社会との関係を築く。

より具体的には、上記目標のもとで、人格形成・コミュニケーションの充実、学力向上・技能獲得向上・資格取得、進路開拓などを目指して教育学習活動にあたる。特に特性の伸長、人間性の育成、技能教育を重視し、色彩教育、情報教育、福祉教育、環境教育、国際教育などに関連する授業や学校行事、クラブ活動などの諸活動の展開・充実を期す。

2. 学校の概要

学校法人高橋学園 千葉学芸高等学校

〒283-0005 千葉県東金市田間 1999 番地

TEL 0475-52-1161

FAX 0475-52-1163

インターネット <http://www.cgh.ed.jp/>

電子メール info@cgh.ed.jp

平成 20 年度	学級数・生徒数	1 学年	4 学級	1 6 6 名
		2 学年	4 学級	1 2 9 名
		3 学年	5 学級	1 7 2 名
		全校	1 3 学級	4 6 7 名

学校の概要については、インターネットホームページで公表中。また、創立 120 周年記念誌等の冊子にて紹介している。

3. 各部門の活動内容・活動状況（学校要覧）

学校の特色をはじめ以下の事項等については、平成 21 年度学校要覧（冊子全 72 頁、関係者向け 5 月刊行）に記載。

- ・ 学校施設・設備、校舎面積
- ・ 学校行事の内容
- ・ 児童会・生徒会活動の内容
- ・ クラブ活動の内容
- ・ 教職員の担当学年、担当教科、校務分掌、授業の持ち時間数、所持免許状の種類
- ・ 校内研修の内容
- ・ 学習指導（授業時数、時間割、総合的な学習の時間の内容）
- ・ 学籍・出欠席統計
- ・ 生徒指導上の諸問題及びそれに対する学校の対処や指導の状況
- ・ 進路の状況
- ・ 安全管理・保健管理（保健安全、防犯対策、防災対策）
- ・ 各部門の予算執行状況
- ・ 父母の会活動状況、地域との連携等の状況

4. 自己評価（平成20年度）

A. 全般の評価

（1）評価

全般評価：おおむね良好

（2）課題と改善策

全般に関わる特に重要な課題として、生徒募集および交通安全の2つを取り上げる。

生徒募集状況の課題

新入学生徒数は昨年並みで頭打ちの状況にあるが、在学生の教育向上・進路状況は良好であり、困難な生徒募集状況は近隣公立学校定員過剰・公私学費格差等の外部要因によるものが主であると考えられる。生徒募集状況の悪化に対しては、内容の充実、広報・PRのくふう等の自己対処方策のさらなる充実発展により改善を図る。

交通安全の課題

安全面で、学校管理下においての事故は少なく、深刻なものは皆無であり、良好であったが、家庭（学校管理下外）において深刻な交通事故受難事例があり、生徒および保護者による指導監督に対して学校から働きかけて安全教育を徹底する面で課題があった。安全教育の充実展開、安全教室や訓練などの学習機会の充実、教材の開発等によって改善を図る。

B. 部門ごとの評価

（準備中）

5. 学校関係者評価

保護者および生徒にアンケートを実施した。

結果については集計中のため、とりまとめの上で後日掲載する。

以上 2009年3月27日現在の学校評価報告とする。